

令和6年12月24日（火曜日）

高校生と姫路市議会との座談会（建設）

議会会議室

出席議員

井上太良、川島淳良、宮下和也、竹尾浩司、  
神頭敬介、松岡廣幸、小田響子、岡部敦吏

出席高校生

網干高等学校 2人、姫路女学院高等学校 3人、  
姫路東高等学校 2人

開会 13時57分

委員長挨拶 13時58分

出席者紹介 14時00分

意見交換 14時03分

○テーマ

・小規模公園の管理活用

「誰も使っていない近所の公園、どのように活用  
しますか」

（委員長）

各高等学校から資料に基づき提案をしたいとの申  
出を受けている。まず、網干高校の提案の説明を受け  
ることとする。

（高校生）

【網干高等学校が資料に基づき説明】

（議員）

防災や減災に関する活用方法の提案をされたが、ハ  
ザードマップを作成するという提案を取り上げた理  
由やきっかけは何かあるのか。

（高校生）

きっかけは学校で減災や防災がテーマの授業があ  
り、南海トラフ地震の津波による想定死者数などのデ  
ータがあった。その想定死者数を減らせないかと考え、  
ハザードマップを作ろうと思った。

（議員）

私も飾磨に住んでいて高潮などの被害が想定され  
る場所なので、学校の立地的にも防災意識が高いの  
ではと思い質問した。

（議員）

熊本で大きな地震があったときもそうであったが、  
学校の体育館に避難するが、そこがいっぱいになって  
しまった際には公園で寝泊りするようなことが今後も  
起こる可能性がある。そういう視点では非常によい

提案である。避難指定をしていなくても近所の住民の  
皆さんは、行くところがなければ広い安全な場所とし  
て公園に避難するだろうから、今後しっかりと整備し  
ていく必要がある。

必要があると分かっているけど全体として進んでい  
ないのが現実であると思うので、我々も形にしていく  
仕事をしっかりしていかなければならないと感じた。

（議員）

例えば「何月何日に一斉に姫路市を停電にして、夜  
間に避難訓練する」という話をしたときに、これは、  
しようと思うと大変である。なぜなら、しなくてもよ  
いという人たちがいるからである。テレビが見られな  
い、エアコンが使用できないと反対する人がいる。し  
なくてもよいと思う人たちは、多分災害が起きたら、  
より災害に巻き込まれやすいと思う。テレビもエアク  
ンも使用できない僅かな時間を訓練で体験しないこ  
とによって、本当に災害が起きたら何日間、何週間も  
の大きな苦しみに遭遇するかもしれないので、避難訓  
練はしなければならないと思う。皆さんに体験・体感  
させるにはどのような方法があるか考えていただき、  
すばらしい提案があれば教えてほしい。そのようなと  
ころで大人も悩んでいることも分かってほしいと思  
う。

（議員）

高校生として、公園をどのように使っているか参考  
までに教えてほしい。

（高校生）

友達とお菓子を買ってしゃべったり、犬の散歩など  
である。

（委員長）

次に、姫路女学院高等学校の提案の説明を受ける。

（高校生）

【姫路女学院高等学校が資料に基づき説明】

（議員）

すばらしい発想であると思った。娘が結婚して神戸  
市で住んでいるが、4歳と2歳の孫がいて、公園デビ  
ューしたと聞いた。そこでは地域の垣根を超えた子ど  
も同士や子どもの親同士のつながりもある。

姫路市の自治会は比較的機能しているが、子ども会  
や婦人会はなくなっていつているので、その世代の人  
たちを結ぶ公園の在り方を我々も考えないといけな

いと思った。

(議員)

映画観賞会の提案を聞いて思い出したことがある。昔、夏に網干西小学校の校庭で映画祭があった。子どもも親も楽しそうにしていた。学校でなくとも公園でもできると教えてもらった。

(委員長)

提案にある映画を見ている画像は何の画像か。

(高校生)

学校の行事で蒜山に行った際に映画を観たときの写真である。

(委員長)

蓄電池の提案について、ここまでの発想はなかなかできないと思う。例えば、2万回転こいだら50円もらえたとすれば、健康にもなるし達成感もあり、ちょっとした小遣いにもなる。これから技術的にできたらいいと思う。

(委員長)

次に、姫路東高等学校の提案の説明を受ける。

(高校生)

【姫路東高等学校が資料に基づき説明】

(議員)

私たち議員は、できる限りトイレを作ってほしいと思っている。なぜなら、高齢者が散歩などしていてトイレに行きたくなったとき、街中でコンビニなどがない地域では、公園にトイレがあると非常に助かる。小さい子どもがトイレに行きたいときにも助かる。私はトイレを設置してほしいと要望する側である。

維持管理は、地域の方で公園愛護会を作り、除草や清掃をし、掃除道具などの費用は市が負担する仕組みもある。

使われていない公園は、遊具を撤去して広場にし、スポーツをしてもいい公園に変えていくという提案は非常に有効であると思う。スポーツができる場所がなくて困っているスポーツ団体、子どもたちがサッカーや野球をする団体などもあるので、公園の活用については今後見直す必要があると思う。

(委員長)

市では、使われていない公園を撤去しようとしているが、地域住民の何人かが反対してできないのが現状である。

また、国の制度で人口1人当たりの公園面積が決まっており、まだ足りない状態である。そのため、あまり使わない公園の分を必要なところに持っていき、そのことを住民に理解してもらわないといけないと思っている。

(議員)

例えば、新しい開発団地で新しい家が建つと、法律に基づいて誰も使わなさそうな小さな公園を作る。法律によって無駄なことも決められている。

皆さんには、家に帰った際に、家族に公園愛護会に加入しているか聞いてみてほしい。ぜひ皆さんで学校を超えて共有していただきたい。

(議員)

姫路市LINE公式アカウントで公園や道路の傷んでいるところの写真を送信できることを知っているか。この機会に、そのような通報システムについても勉強していただき、親だけでなく皆さんも公園の一斉清掃に参加し、地域で活動して公園が維持できていると実感してほしい。

(委員長)

先ほど、公園を学校も使用できるようになればいいとの提案があったが、使用可能である。網干高校であれば網干なぎさ公園を使っているのではないか。

(高校生)

清掃活動している。

(委員長)

姫路女学院高校は町なかにあるが、近くの公園を使用しているのか。

(高校生)

清掃活動している。

(委員長)

高校生も清掃活動に貢献していただいている。

姫路東高校の近くにも公園がたくさんある。公園の使用について今は自由度が高くなっているのでどんどん使用してほしいと思う。

管理をどうすればよいかであるが、自治会や老人会など今は元気だが、10年か15年後にはがくんと力が落ちると思う。15年先に公園が重荷になるか、あつてよかったとなるかを実感する年代は、皆さんの年代であるので、今考えないといけない。管理のことばかり考えるとしんどくなるので、もっと使い勝手がいい

ように使用していけばよいと思う。

(議員)

姫路市でも民間の力を活用する P a r k - P F I が創設される。P a r k - P F I が始まれば公園の管理は民間事業者にしてもらうのか。

(執行部職員)

P a r k - P F I 方式を導入した公園整備を来年度から行い、民間企業を公募して、姫路市と共同でその公園を設置・運営していく形である。ただし、民間企業も参入する以上は、採算が取れるある程度大きな公園で集客能力のある公園が対象となる。提案説明であった地域の小さな公園は採算性がないので同方式の導入は難しいと考えられる。

(委員長)

未来につながる公園について、これからも考えてもらいたい。

(委員長)

皆さんは卒業後姫路から出たいと思うか。(挙手で確認。複数人が挙手)

(委員長)

今の率直な意見でいいので、将来は姫路へ帰りたと思うか。(挙手で確認。複数人が挙手)

(委員長)

将来は姫路へ帰りたと思わない生徒もいるが、その意見もいいと思う。

議員としては、東京や大阪へ行っても、やはり姫路はよかったと思ってもらえるように頑張っている。

(議員)

議員に率直に聞いてみたいことはないか。

(高校生)

どうして議員になろうと思ったのか。

(議員)

先達の皆さんから引き継いだ組織の中で未来をポジティブにつくっていくときに、自分が仕事ができる機会があったので、議員として社会のため未来のために立ち上がろうと立候補した。

(議員)

サラリーマンをしていたが、地域の方や周りの皆さんから議員になってくれないかと依頼を受けた。いろいろな世話役活動をしていたので、最終的には自分で決断し立候補した。

(議員)

私は会社経営をしていて、昔は法人税が高かったので、この税金の使い道は何だろうと考えた。また、皆さんの困り事を解決しようと思い立候補した。

(委員長)

私はもともと P T A 役員や地域の消防団員などをしており、地域をよくしたいと思い議員になった。今は地域だけでなく市全体のことを考えている。

(議員)

私はサラリーマンをしていた。周りの人から推薦され立候補して議員になった。

(議員)

私の所属する公明党は定年制があり、先輩議員が卒業した後の後任として推薦を受け議員になった。

(議員)

P T A 活動や地域活動を一生懸命していた中で、周りの人や自治会の人から依頼されたが断っていた。最終的にはその依頼を受けて議員になった。地域を良くしようと議員になったが、今は姫路市のいろいろなことに対して頑張っている。

(議員)

選挙の 3 か月前くらいまで議員になろうとは思っていなかった。パートで働いており、生きづらさや大変さを実感していて、誰かが変えなければとの思いから議員になった。もう一つは、女性の目線が大事であると思った。増えてはいるが、議員や役職のある方に女性は少ない。女性でないと分からないことがあるので、その意味でも私が議員になった意味があると思う。

(委員長)

それぞれの回答を聞いてどう思ったか。意外であると思ったか。

(高校生)

どういう人が議員になるのか知らなかった。一般の職業に就いていて、推薦されたという議員が多かった。

(委員長)

女性の目線が大事という話があったが、いろいろな考え方があるので、やはり男性と女性の割合は 5 対 5、最低でも 7 対 3 くらいがいいと思う。皆さんが社会の経験を積んで、選挙は過酷ではあるが、やりがいのある仕事なので、ぜひ議員になっていただければありが

たいと思う。

(委員長)

せっかく座談会に来ているので何か一言ずつ話していただきたい。

(高校生)

プレゼンテーションが成功するか不安で議会という場所でもあるので緊張していたが、座談会は笑いも多くリラックスできたので、よい職場であると思った。

(委員長)

ほかに聞きたいことはあるか。

(高校生)

どのように公園を使っているか。

(委員長)

私は自治会活動をしているので公園の掃除をしている。昔は子どもがサッカーをしていたので連れて行っていた。

(議員)

朝6時くらいに公園へ行くと、パンジーを植えるなど、花の手入れをしている。そこへ手伝いに入り雑談することが私の公園の使い方である。

(委員長)

女性目線での公園の使い方はあるか。

(議員)

自治会の当番での清掃くらいである。夏場の清掃は1時間くらいかかるが、人が増えれば早く終わるので維持管理の担い手は大事であると強く思う。

(委員長)

座談会のテーマとして、どうすれば使い勝手のいい魅力ある公園になるかを話し合っているが、これが現状である。

(議員)

私は体操器具が設置されている公園に行って体を動かしている。

(高校生)

最初は少し堅苦しい雰囲気と思ったが、後半は緩い雰囲気となり、参加してよかったと思った。

(委員長)

本会議ではこのような緩い雰囲気ではなく、市長、副市長を相手にするので座談会とは違った雰囲気である。議員と接してもらうには堅い雰囲気では本音を言ってもらえないので緩いバージョンで行っている。

(高校生)

私も最初は堅いイメージであったが、いい意味で話しやすいと思った。

(高校生)

議員をしていてよかったと思ったことはあるか。

(議員)

我々議員はいろいろな相談を受けるが、受けた相談が解決できて市民に喜んでもらったときに、議員にとって一番の喜びになると思う。

(高校生)

昨年度も座談会に参加し、今回で2回目の参加である。2回目だからといって緊張が解けることはなかったが、提案説明が成功してよかった。

(高校生)

私は人前で話すとき緊張してしまう。議員は人前で話す機会が多いが、コツはあるのか。

(議員)

人と目線が合うとドキッとすることがあるので、最初は遠くを見て自分の思うことを間違いなく言うという意識で話すとうまく話せるかもしれない。

(高校生)

私は将来、児童相談所に勤務したいと考えているが、その際は子どもの気持ちなどいろいろなことを考えて子どもと接しないといけないと思う。人と接するときが一番大切にしていることは何か。

(議員)

より大勢の人と会ってほしい。世の中にはいろいろな人がいる。大金持ちの人もあるし、家族が刑務所にいる人もいる。それだけの幅の人たちを相手にする仕事と思ってほしい。恵まれている人と恵まれていない人との大きな幅をしっかり見て、理解してもらえれば、児童相談所で子どもたちの相手ができると思う。やはり自身でそういう人たちと接しないと分からないと思うので、勉強してぜひ頑張ってもらいたい。

(委員長)

取りあえず他者が何を言いたいのか理解する、また、他者の立場に立って考えることがいいと思う。他者の話を聞くことが大切であると思う。

**意見交換終了**

**15時37分**

**委員長挨拶**

**15時37分**

**閉会**

**15時38分**